

LÂG/HYVIBE



User Manual

 **HyVibe**



Dr. Adrien Mamou-Manilは、HyVibeの共同創立者兼CEOを務めています。HyVibeを設立する前は、Ircam Instrumental Acousticsチームの主任研究員を務めていました。彼はピエール・エ・マリー・キュリー大学（パリ）で音響学と力学の博士号を取得しており、パリ・フィルハーモニー博物館（パリ）やイギリスのオープンユニバーシティ音響研究所ではニュートンフェローとしてポストドク研究員を務めています。アドリアンは楽器の振動と制御の世界的専門家として認められている。チェリストとしても活躍しており、パリ近郊のロッククラブでギターを弾いたり歌ったりすることでも知られています!!

INTRODUCTION

HyVibeシステムは、アクチュエータ、高速プロセッサ、Bluetoothモジュールで構成された振動制御システムを利用した音の増幅装置です。

アコースティック楽器自身をアンプ、スピーカー、リコーダー、ルーパー、マルチエフェクトプロセッサとして使えます。

—

—

|

|

QUICK START

01 HyVibeシステムのファームウェアの更新

▶ PC/Macから下記リンクへ移動してください。
www.hyvibe.audio/downloads

- HyVibe Systemの最新バージョンのファームウェアをダウンロードしてください。ダウンロード後、ファームウェアファイルを解凍してください。
- HyVibeシステムをオンにする
- USB CケーブルでPC/MacにラグHyVibeスマートギターを差し込みます。
- USB MODEのメニュー画面に移動します。
- HyVibe Interfaceを起動し、USBモードをオンにします。
- 解凍したファームウェアファイルをHyVibeシステムドライブにドラッグ/コピーします。
- PC/MacからHyVibeシステムを安全に取り外します。
- HyVibeシステムの再起動
- HyVibeシステムは、電源を入れると自動的に更新されます。
- 今後のアップデート通知は、HyVibeモバイルアプリで行います。

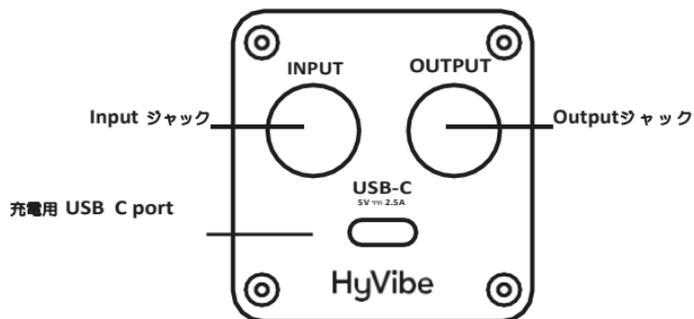
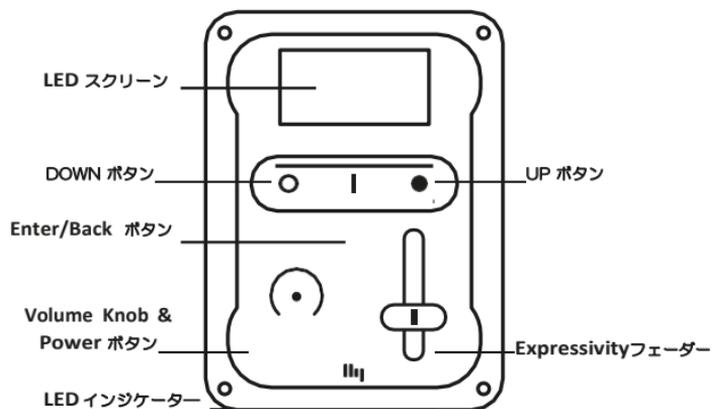
02 HyVibeモバイルアプリのダウンロード

Apple App Store (iOS) およびGoogle Play Store (Android) でHyVibeモバイルアプリを検索します。アカウントを作成し、アプリをHyVibeシステム接続に接続します。(23ページの手順)

03 キャリブレーション

初めて演奏する前に、HyVibeシステムを調整してください。(26ページの手順)

CONTROL BUTTONS/KNOBS



TURNING ON/OFF

HyVibeシステムをオンにするには、ボリュームノブを素早く押しま
す。



HyVibeシステムをオフにするには、ボリュームノブを1秒間
押します。



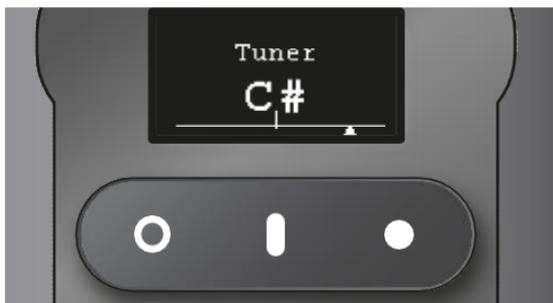
HyVibeシステムは、5分間ギターを弾かないと自動的
に電源が切れます。

HyVibeシステムがフリーズした場合は、ボリュームノブを10
秒間長押しすると、デバイスの電源がオフになります。

TUNER

HyVibeシステムには、チューナー機能が搭載されています。チューナーモードに入るには、機能メニューをLEDにTunerと表示されるまでスクロールします。画面に表示されたら enter/back をクリックしてチューナーモードに入ります。

ギターの弦を弾くと、その弦に最も近い音がLEDに表示されます。インジケーターが音符の右/左にある場合は、表示されている音符よりも高い/低いことを示します。(下画像参照)



EFFECTS MODE

HyVibe Systemには、プリロードされたギターエフェクトが搭載されています。

エフェクトモードに入るには、LED画面にエフェクトが表示されるまで、上下のボタンでファンクションメニューをスクロールします。



'ENTER/BACK'をクリックすると、EFFECTモードになります。LEDが点灯します。画面には、有効化されたエフェクトの名前が表示されます。

上または下のボタンでスクロールするか、HyVibe Mobile App上でプリセットを直接選択することができます。

エフェクトパラメータは、「連続コントロール」レバーを動かすことで変更す



Continuous control

ることができます。レバーでコントロールするパラメータを選択するには、HyVibe Mobile App内のエフェクト画面からアクセスできるエフェクトコンフィギュレーションでパラメータを長押しします。

エフェクトのボリュームは、ボリュームノブで上げたり下げたりすることができます。.



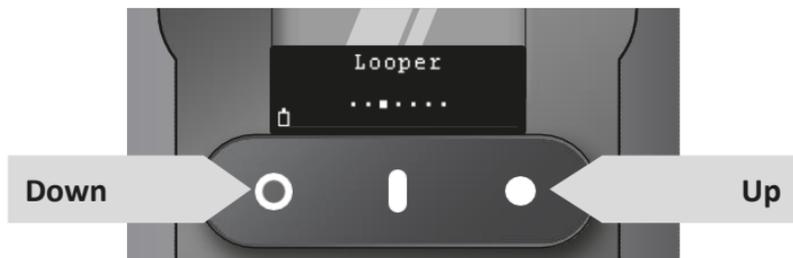
Volume knob



Volume level indicator

RECORD AND LOOP

HyVibeシステムには、レコーダーとルーパーが搭載されています。モードとループモードに入るには、LED画面に「Looper」が表示されるまで、「上」または「下」ボタンで

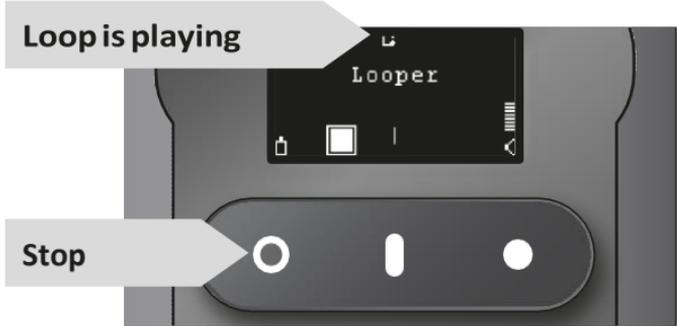


機能メニューをスクロールします。

モードに入るには、「enter/back」をクリックします。

上のボタンをクリックすると、レコーダーとルーパーが起動します。アップボタンを押すと、1小節分のカウントダウンが始まります。カウントダウンの後、録音が始まり、デフォルトでは4小節（HyVibe Mobile Appで設定可能）のギターの演奏が録音されます。録音は自動的に停止して再生されます。再生を停止するには、ダウンボタンを押します。再生するには、ダウンボタンを押します。





新しい録音が行われるまで、録音を再生することができます。記録は HyVibeシステムメモリに保存されます。

録音したファイルを取り出すには、USBポートを介してギターをコンピュータに接続し、コンピュータのファイルマネージャーを使用して、HyVibeシステムに保存されている録音ファイルにアクセスします。

メトロノームモードでは、録音の拍子とテンポを調整することができます。これらのパラメーターやループに記録された小節の数は、HyVibe Mobile Appで調整することができます。

METRONOME

HyVibe Systemにはメトロノーム機能があります。メトロノームモードに入るには、LED画面に「メトロノーム」と表示されるまで、上下のボタンで機能メニューをスクロールします。enter/back」をクリックして「メトロノーム」モードに入ります。

上下のボタンでメトロノームを開始または停止します。



メトロノーム」モードでは、1分あたりの拍数（BPM）とメトロノームの拍子を調整することができます。Metronome」がオンの場合、「up」ボタンを押して設定に入ります。その後、「up」と「down」ボタンでパラメータを切り替え、Volume ノブでパラメータを調整します。 .



SPEAKER MODE

HyVibe Systemは、Bluetoothスピーカーとして機能することができます。ギターをBluetoothスピーカーとして使用するには、スマートフォンのBluetooth設定でHyVibeシステムに接続してください。ギターはHyVibe Mobileアプリ経由でしか接続しないとBluetoothスピーカーとして機能しません。

次に、HyVibeシステムのスピーカーモードに入ります。スピーカーモードに入るには、LED画面に'Speaker'が表示されるまで、upまたはdownボタンで機能メニューをスクロールします。enter/backボタンをクリックして、モードに入ります。

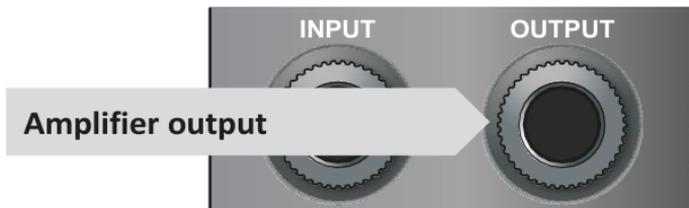


スピーカーを有効/無効にするには、上下ボタンでスクロールしてオン/オフします。



AUX OUT

HyVibeシステムは、外部機器からの1/4" ギターケーブルをギターの出力端子に接続することで、アンプや外部機器と接続することができます。

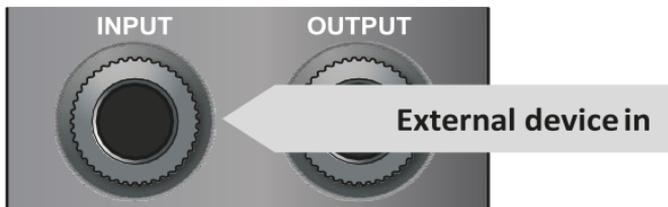


外部機器に接続した場合は、ボリュームノブでエフェクト、ループ再生、Bluetoothストリームの音量をコントロールします。連続コントロールレバーは、ギターのダイレクト出力の音量をコントロールするために使用します。出力デバイスから音が出ない場合は、HyVibe Systemを再起動してください。

AUX IN

外部ペダルなどをHyVibeシステムに接続することができます。

AUX INモードにするには、外部機器の1/4インチギターケーブルを入力端子に接続してください。入力デバイスが認識されない場合は、HyVibe Systemを再起動してください。入力端子と出力端子を併用することで、外部機器（Fxペダル、サウンドカード、PCなど）をギターに接続して使用することができます。



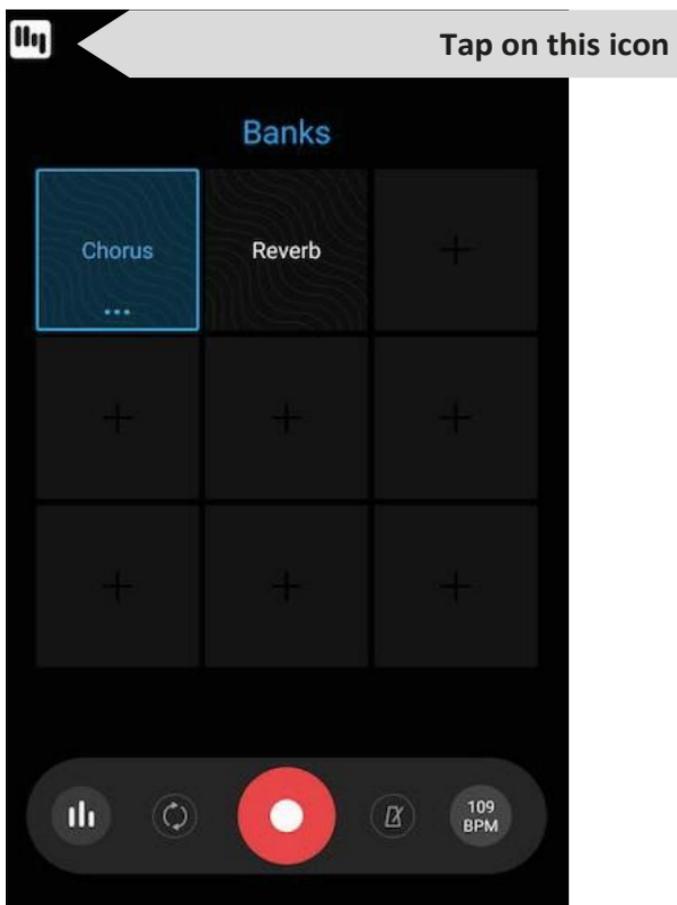
MOBILE APP CONNECTION

HyVibeモバイルアプリは、HyVibeシステムを次のレベルに持っていくことができます。Apple  App Store  (iOS)とGoogle Play Store  (Android)から無料でダウンロードできます。HyVibeモバイルアプリは、以下のことができます。：

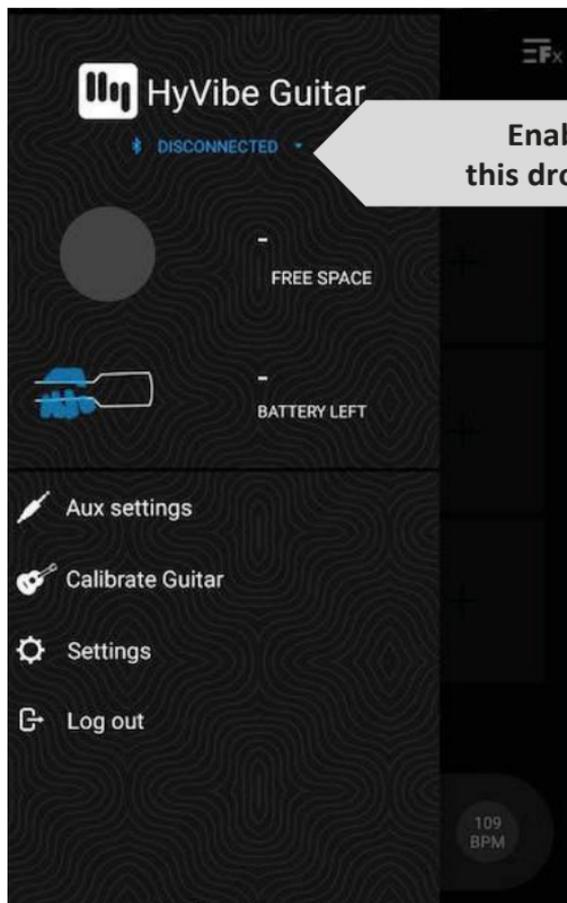
- エフェクトを変更する
- ルーバーの設定をする 演奏を録音する
- カスタムエフェクトバンクの作成
- エフェクトメニュー画面でエフェクトのシーケンスを設定する
- ギターのキャリプレート



HyVibeモバイルアプリを使用するには、アプリを開き、左上のHyVibeアイコンをクリックしてください。



上段の下には、アプリがギターに接続されているかどうか、切断されているかどうかが表示されます。を押してください。
ステータス設定の下にあるドロップダウンボタンを押して、接続を有効にします。ギターが表示されない場合は、「start scan」を押してギターを検索します。



FEEDBACK CONTROL

カスタムバンクやエフェクト（特にゲインを上げる場合）を作成する際には、大音量のフィードバックが発生する可能性があるので注意が必要です。エフェクトの使用中にギターからの不要なフィードバックが発生した場合は、以下の解決策を試してみてください。:

CALIBRATION

弦が消音/ミュートされている時にフィードバックや不要なノイズが発生している場合（ギターのボディ内部からの音）は、HyVibe Systemの再調整を行ってください。

まず、ギターのチューニングを確認してください。.

次に、デバイスまたは接続したHyVibe Mobile Appでキャリブレーションメニューに入ります。弦を消音して（ギターのボディとボディ内部からのフィードバックを中和するため）、同時にcalibrateを押します。

CREATE NOTCH FILTER

HyVibeモバイルアプリを使用して、ノッチフィルターを追加することができます。

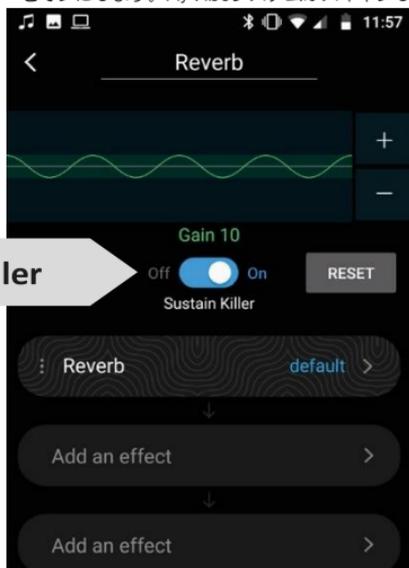
エフェクトバンクのフィルター。ノッチフィルターは、周波数帯域から非常に狭い周波数をカットするために使用されます。.

HyVibe Mobileで、エフェクトバンクの下の方を押して、Modifyをクリックします。バンクのゲインを下げます。

SUSTAIN KILLER

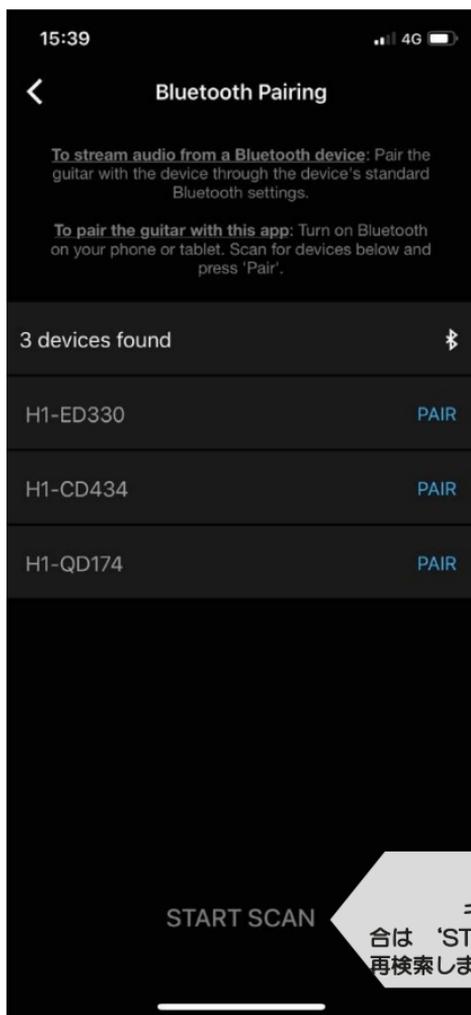
弦に不要なサスティーン（弦の自動振動）がある場合は、Sustain Killer を有効にします。これを行うには HyVibe Mobile App に入り、エフェクトバンクの下部にある3つの点を押し、Modifyをクリックします。サスティンキラーをオンにします。HyVibeシステムがスキャンして、フィー

Sustain Killer



ドバックの原因となる最大10の周波数を（2秒以内に）見つけ出し、フィルタリングします。

サスティンキラーをオフにすると、フィルターは無効になります。しかし、それをオンに戻すと、以前の周波数フィルターが再びアクティブになります。リセットボタンを押すと、HyVibeシステムはフィルターをクリアしてスキャンを再開します。



HyVibeを
探し、ペアリング
します。

ギターが表示されない場
合は 'STARTSCAN' を押して
再検索します。

Bluetooth ストリーミングの手順については、21 ページを参照してください。

CHARGING INSTRUCTIONS

LED画面にバッテリー残量表示があります。

HyVibeシステムを充電するには、付属のUSB-Cコネクタを充電ポートに接続します。付属の充電器（5ボルト、2.5A）のみを使用してください。

充電中はLEDが点滅し、充電が完了すると点灯します。

充電が完了したら、充電器を取り外してください。



Powered by
 **HyVibe**

www.lagguitars.com
www.hyvibe.audio